

科目名	バッグ実習Ⅲ-A	整理番号	
学科	ファッションクラフトデザイン学科	期	通年
コース	バッグコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	360	作成者	片山知佳

【科目の到達目標】

バッグの制作方法を理解した上で夫々の制作方法に合った細部の加工作業ができ、またそれを生かしたオリジナルデザインの作品を制作する事ができる。バッグ特有の縫製技術を活かしたデザインでよりクオリティの高い作品を制作することができる。

【科目の概要】

バッグの総合的な技術と知識を活かし、質の高い作品作りを目指す

【授業計画】

90分/コマ			
1～6	プレタ展出品制作	91～96	展示作品制作
7～12	プレタ展出品制作	97～102	上コレ出品制作 1点
13～18		103～108	
19～24		109～114	
25～30		115～120	
31～36		121～126	
37～42	バッグメーカーとのコラボ作品	127～132	
43～48		133～138	卒業課題制作
49～54		139～144	
55～60		145～150	卒業課題制作
61～66	課題1(スワローマチ)	151～156	
67～72		157～162	
73～78		163～168	
79～84		169～174	
85～90	テスト	175～180	テスト

【成績評価方法】

課題作品60%、修了テスト30%、平常点10%

【教科書・参考書】

プリント配布

【教材・教具】

縫製用具一式、製図用具一式、指定のはさみ、ピンセット、ライター、刷毛

科目名	バッグ実習Ⅲ-B	整理番号	
学科	ファッションクラフトデザイン学科	期	通年
コース	バッグコース		昼間
学年	3年		講義 20% 実習 80 %
時間数	60	作成者	橋本みずえ
【科目の到達目標】 バックのパターン技術の習得 ・デザイン画・写真を見て生徒自身で考える力を身に着ける事。			
【科目の概要】 バックの型紙の基礎から型のバリエーション、ディテールなどの知識を習得する。			
【授業計画】 90分1コマ			
前期		後期	
1・2	型紙レベルチェック ・型紙の作り方の基礎確認 ・マチなしトート ・通しマチトート	16・17	ボストンバック
		18・19	三日月型バック
3・4・5	切り替えバリエーション ・マチなしポーチをベースに	20・21	リュック ・かぶせ付き・巾着タイプ
6・7・8	ディテールバリエーション① ・横マチトートをベースに (コーナー・根革・ハンドル)	22～28	アレンジデザイン 3型 ・原寸図面と型紙
9	内装バリエーション (べたポケ・Fポケット・ペン差し)	29・30	テスト
10・11	フォルムバリエーション ・マチ付きポーチベース (胴・マチ・天マチ)		
12・13・14	ディテールバリエーション② (ダーツ・タック・ギャザー)		
15	テスト		
【成績評価方法】 課題作品60%、修了テスト20%、平常点20%			
【教科書・参考書】			
【教材・教具】 製図用具一式			

科目名	コンピュータ演習Ⅲ	整理番号	
学科	ファッションクラフトデザイン学科	期	通年
コース	バッグコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 20% 実習 80 %
時間数	120	作成者	野田 光晴
【科目の到達目標】 就職や、卒業後の活動の際に作成できる基礎力をつける。 イラストレーター・フォトショップの復習応用をしながら、名刺などのアイテムを作成する。			
【科目の概要】 クオリティとスピードを要求されるエンターテインメントの世界において、スタートから具体的に出来上がりを伝える必要があると考える。基礎的な操作方法を固め、効率を考えた一連の知識や技術習得する。			
【授業計画】 90分/コマ			
前期		後期	
1～2	アパレル業界概要と就職指導	31～32	エクセル① エクセル基本操作
3～4	ポートフォリオ制作A-① 作品テーマの明確化とイメージ	33～34	エクセル② 表計算：原価率と利益率 1
5～6	ポートフォリオ制作A-② 作品のまとめとページ構成	35～36	エクセル③ 表計算：原価率と利益率 2
7～8	ポートフォリオ制作A-③ ページの見直しと編集	37～38	エクセル④ 練習問題
9～10	ポートフォリオ制作A-④ 完成	39～40	エクセル⑤ エクセル小テスト
11～12	ポートフォリオ制作B-① 就職先の分析とイメージ提案	41～42	デザイン発想Ⅰ 黄金比① 黄金比の説明とデザイン発想
13～14	ポートフォリオ制作B-② ページ構成とデザイン	43～44	デザイン発想Ⅰ 黄金比② デザイン画
15～16	ポートフォリオ制作B-③ ページの見直しと編集1	45～46	デザイン発想Ⅱ 白銀比① 白銀比の説明とデザイン発想
17～18	ポートフォリオ制作B-④ ページの見直しと編集2	47～48	デザイン発想Ⅱ 白銀比② デザイン画
19～20	ポートフォリオ制作B-⑤ 完成	49～50	デザイン発想Ⅲ Artからのデザイン① アーティストの説明とデザイン発想
21～22	OEM企画演習① ブランドイメージと競合ブランド分析	51～52	デザイン発想Ⅲ Artからのデザイン② デザイン画
23～24	OEM企画演習② アイテム構成とデザイン1	53～54	デザイン発想Ⅳ 応用デザイン① コンセプトとテーマ
25～26	OEM企画演習③ アイテム構成とデザイン2	55～56	デザイン発想Ⅳ 応用デザイン② デザイン作成
27～28	OEM企画演習④ プレゼン	57～58	デザイン発想Ⅳ 応用デザイン③ 完成
29～30	前期末試験	59～60	後期末試験
【成績評価方法】 提出物評価60% テスト30% 授業態度10%			
【教科書・参考書】 プリントを配布			
【教材・教具】 筆記用具			

科目名	ファッションビジネス概論	整理番号	
学科	ファッションクラフトデザイン学科	期	通年
コース	バッグコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 30% 実習 70%
時間数	60	作成者	秦野 知邦 榮 和代

【科目の到達目標】

商品知識・計数知識・MD力を養い物作りから店頭までのプロセスを理解し実戦力を身に付ける事ができる

【科目の概要】

ネット通販での売上が増えている今、販売方法の変化、対面サービスのありかた、ショップの今後を見据えながらマーケティング、プランニングを時代背景を踏まえてアドリブ、アレンジ力、柔軟性を持つ能力を養う
時流を見据えて先を考える力を身につける

【授業計画】

前期 90分/コマ		後期	
1	ファッションビジネスの知識 販売ビジネスの今、業界のプロセス、 アパレル、小売の現状を理解	16	市場調査の分析の仕方
2	世界について 世界観を持つ 宗教、貨幣、歴史、文化等も知る	17	市場調査のまとめ方
3	マーチャンダイジングのストラクチャーに ついて	18	市場調査発表 商品知識 副資材・加工方法・機能素材・機能性 等について説明
4	ファッションの変化予測について 月次商品計画の組み立て方 売れ筋商品の予測の仕方	19	イメージショップの発表 問題点指摘
5	計数知識 計数知識の基礎と演習 テスト	20	秋冬基本定番素材について テスト
6	イメージショップの立案 年間売り上予定を計算 予算の組み立て方	21	今年よく見受けられた商品動向のまとめ方
7	月末、月初の収支計算	22	編地の基本 セーター&カットソー 編地・ゲージの基本、製品サンプルにて 説明、ゲージ別アイテムPCにて作成
8	ショップネーム立案 コンセプト、アイテム比率、プライス構成 立案 テスト	23	店頭計画6ヵ月分のMD構築について
9	前週の検討と指摘、修正 店頭商品構成と展開についての内容 説明	24	前週の続き
10	春夏基本定番素材について 仕入れ商品台帳について	25	売れ筋商品の見方 売れ筋商品の動向について
11	オリジナル商品台帳について	26	まとめ・小テスト
12	SKUについて	27	総まとめ
13	前週の続き	28	これからの市場について
14	コンセプトに合ったショップの組み立て方 トレンドの分析の仕方と傾向 今年の商品動向について テスト	29	ファッション傾向
15	繊維製品について 工程、コスト、サイズ、ディテールの基本	30	テスト

【成績評価方法】

作品(的確性、完成度、プレゼンテーション・提出期限日) 60% 授業態度 10% 試験 30%

【教科書・参考書】

プリント配布・ファッション販売(Ⅱ)

【教材・教具】

筆記用具・計算機・ハサミ・ノリ・A4orB4クリアーファイル

科目名	染色Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションクラフトデザイン学科	期	前期
コース	バッグコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 10 % 実習 90 %
時間数	60	作成者	長田 綾美

【科目の到達目標】

デザインの感性を高め作業を計画的進めて行く能力を養う。

染料と繊維の関係を学ぶ。

平面構成、色彩構成力を養う。テキスタイルデザイン画の基礎を学ぶ。

【科目の概要】

私たちの生活空間に存在する多くの染色物のそれぞれの多様な染色技法を理解するためにテキスタイルデザイン画の制作を通じて シルクスクリーン、ステンシル、マーブリング等の染色技法を使い

手作りを基本とした実習で生地や革素材等を染めながら修得します。

【授業計画】

90分/コマ

前期

- 1 テキスタイルデザイン概論。 アナログ制作からコンピューターによる思考と表現までの
- 2 テキスタイルデザインの変遷について。
- 3 平面構成、色彩構成力を養う。
- 4 パース表現、ドローイングを学ぶことにより空間、立体表現力を養う。
- 5 同上
- 6 構成手法を学ぶ。 バランス、リズム、プロポーションについて。
- 7 構成手法を学ぶ。 ムーブメント、シンメトリー、デフォルメ、リザナンス(共振)について。
- 8 テーマ設定し計画を立てた上で作品を制作する。 デザイン画制作。
- 9 デザイン画を完成させる。
- 10 シルクスクリーン、マーブリング等の技法でデザイン画をもとに皮革、生地等にプリント。
- 11 同上
- 12 同上
- 13 染色作品を完成させる。 合評。
- 14 アイデアのきっかけとなる資料収集。整理、分類。
- 15 基本的な造形表現に加えテキスタイルデザインの基礎を学ぶ。
- 16 抽象的表現。点、線、面を中心としたデザイン画の制作。
- 17 同上
- 18 具象的表現。植物、動物、建築、大自然などを中心としたデザイン画の制作。
- 19 同上
- 20 抽象的表現と 具象的表現を組み合わせたデザイン画の制作。
- 21 同上
- 22 これまでのデザイン画をもとに染色作品を制作する。
- 23 同上
- 24 作品を完成させる。 合評。
- 25 自由制作。 テーマ設定は各々自由。これまでの染色技法やデザイン力を活かして制作する。
- 26 同上
- 27 同上
- 28 同上
- 29 同上
- 30 染色作品を完成させる。 合評。

【成績評価方法】

課題作品評価60%、期末試験・小テスト30%、平常点10%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

科目名	商品研究 I	整理番号	
学科	ファッションクラフトデザイン学科	期	通年
コース	バッグコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	60	作成者	濱屋 但

【科目の到達目標】

研究を通して市場の現状を理解し、商品の新たな需要や価値を創造し提案できる

【科目の概要】

コラボ商品制作・提案 企業見学 工場見学 マーケットリサーチ・コンテストなどを行う

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	アパレル業界概要と就職指導	16	企業見学
2	プレタブルテ展・商品提案	17	外部コンテストデザイン
3	プレタポルテ展・商品提案	18	外部コンテストデザイン
4	プレタポルテ展・商品提案	19	マーケットリサーチ
5	プレタポルテ展・商品提案	20	コラボ商品提案
6	企業見学	21	コラボ商品提案
7	外部コンテストデザイン	22	コラボ商品提案
8	外部コンテストデザイン	23	コラボ商品提案
9	マーケットリサーチ	24	コラボ提案発表資料作成
10	コラボ商品 製作・提案	25	コラボ提案発表資料作成
11	コラボ商品 製作・提案	26	上田コレクション作品
12	コラボ商品 製作・提案	27	上田コレクション作品
13	コラボ商品制作・提案	28	上田コレクション作品
14	まとめ	29	まとめ
15	テスト	30	テスト

【成績評価方法】

平常点(授業態度)10% 課題作品60% 理解力30%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

科目名	海外研修	整理番号	
学科	ファッションクラフトデザイン学科	期	前期
コース	バッグコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 50 % 実習 50 %
時間数	120	作成者	濱屋但
【科目の到達目標】			
・イタリア、ハイブランドを基準としたブランディング、製造方法の習得。			
【科目の概要】			
・イタリア提携校 アルストリア校にてハイブランドのブランディング、マーケティングを学び、チームで企画したブランドプレゼンテーションをする。			
・フィレンツェ提携校：パラッツォプッチにて、現地講師の指導のもと、コレクションデザインしたバッグを制作する。ラグジュアリーブランドの歴史の講義、会社見学を通じ製造や機械のレベルの高さを学ぶ。			
【授業計画】			
90分/コマ	前期		
1～16	ブランディング・マーケティング講義		
17～20	デザインアイデアについて講義		
21～24	アルマーニ博物館見学		
25～28	リナシェンテ リサーチ		
29～32	コレクション組み立てについて講義		
33～40	企画ミーティング		
41～76	プロダクト制作		
77～84	プレゼンテーション		
85～92	フィレンツェ市内リサーチ		
93～100	トスカーナ地方歴史 講義		
101～104	会社見学		
105～108	会社見学		
109～112	会社見学		
113～117	会社見学		
117～120	アウトレットモールリサーチ		
【成績評価方法】			
現地授業での平常点 帰国後レポート提出			
【教科書・参考書】			
【教材・教具】			